

ブラジル オレンジ果汁の輸出量が7%減少

FreshPlaza 2024年1月30日

ブラジル産オレンジの収穫量の減少はオレンジ果汁の輸出量に影響を与えたが、価格の上昇が最終的にそれを打ち消し、2023/24年度上半期(7月～12月)の出荷額の増加が確実となった。

CitrusBR(ブラジル柑橘類輸出業者協会)が取りまとめた対外貿易事務局(Secex)のデータによると、ブラジルの冷凍濃縮オレンジ果汁(FCOJ)の輸出量は、前年同期比7.25%減の54万3,800トンとなったが、輸出額は20.7%増の13億ドルであった。

柑橘類保護基金(Fundecitrus)の最新の推計では、サンパウロ州とトリアングロ・ミネイロ地域(ミナスジェライス州の三角地帯)の今シーズンの収穫量は0.7%減の3億722万箱で、4年連続の低い水準となる。

一方、米国農務省(USDA)のサンパウロ駐在農務官は、2023/24年度のブラジル全体のオレンジ総収穫量を1.03%減の4億800万箱と推定している。

出荷額は、果汁の国際価格の上昇に伴い増加した。ニューヨーク証券取引所で最も取引量の多い3月に満期を迎える先物取引の契約価格は、1年で67%上昇した。

CitrusBRのイビアパバ・ネットー会長は声明で、「米国フロリダ州の収穫量は過去最低で、ブラジルの生産量は平均して低く、果汁の供給の観点から非常に困難なシナリオに陥っている」としている。

下のグラフは、ブラジルの港から世界に向けてコンテナで出荷されたオレンジ果汁の輸出量(コンテナ数)を示している。データはDataLinerによる。

ブラジルのオレンジ果汁輸出量 2019年1月～2023年11月 20トンコンテナ換算コンテナ数(TEU)



出典: DataLiner

ブラジル産果汁の主な出荷先であるヨーロッパ向けの輸出量は、今年度上半期に10.5%減少し、合計29万8,800トンであった。同じ期間の米国向けブラジル産オレンジ果汁は1.2%減の17万2,300トンであった。

詳細については www.datamarnews.com を参照